

沿岸各地の水温

(4月6~10日)

日本海 10℃台
陸奥湾 5~8℃台

津軽海峡 7~9℃台
太平洋 6~7℃台

今回は各地で昇温し、平均前回差は+0.6度となっています。

昨年と比べると、日本海側で-0.5度、津軽海峡側で-1.0度、陸奥湾で-0.3度、太平洋側で-2.4度となっており、平均昨年差は-1.1度となっています。

平年と比べると、日本海ではかなり高め、津軽海峡、陸奥湾では平年並み、太平洋ではやや低くなっており、平均平年差は+0.0度となっています。

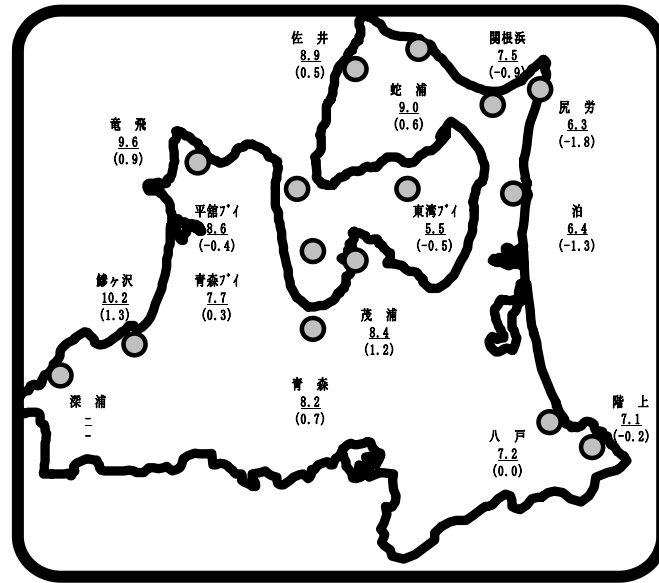


図 定地水温 (4月6~10日)
平均値 (平年差) ブイ 1m

	水温	平年差	昨年差	前回差
深浦	-	-	-	-
鯨ヶ沢	10.2	+1.3	-0.5	+0.5
竜飛	9.6	+0.9	+0.1	+0.1
佐井	8.9	+0.5	-0.8	+0.5
青森	8.2	+0.7	-0.5	+0.5
蛇浦	9.0	+0.6	-1.0	+1.4
関根浜	7.5	-0.9	-2.1	+1.5
尻労	6.3	-1.8	-3.5	+1.0
泊	6.4	-1.3	-3.2	+0.4
八戸	7.2	0.0	-1.4	+0.5
階上	7.1	-0.2	-1.6	+0.3
茂浦	8.4	+1.2	+0.9	+0.2
平館ブイ	8.6	-0.4	-1.3	+0.6
青森ブイ	7.7	+0.3	+0.1	+0.1
東湾ブイ	5.5	-0.5	-0.5	+0.7
平均	7.9	+0.0	-1.1	+1.0

太平洋の海況 (4月9~10日)

概況；沿岸水温は5~6℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

5~6℃台で、前回と比べ変わっていません。前年同期と比べ3~4度低い水温となっています。

○津軽暖流の尻屋崎東方への張り出し

5℃等温線でみると東経141度30分付近までで、張り出しは前回より強くなっています。

○親潮系冷水の南下

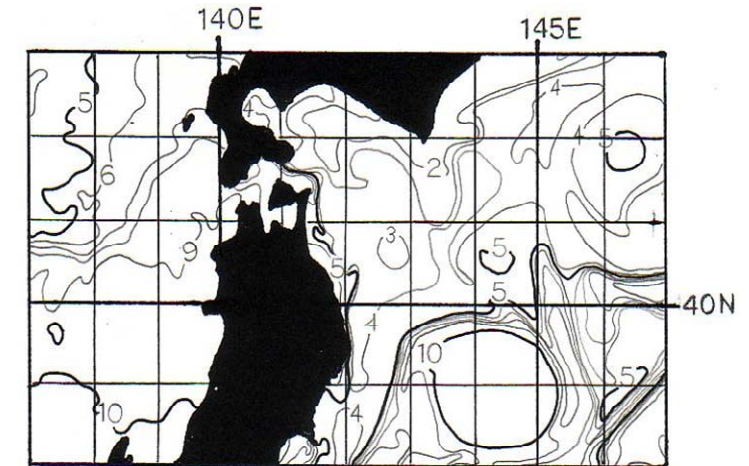
5℃等温線でみると北緯37度25分付近までで、張り出しは前回より弱くなっています。

日本海の海況 (4月9~10日)

概況；沿岸水温は9℃台

○日本海沿岸域の表面水温

9℃台で、前回と比べ1度ほど昇温しています。前年同期と比べ1度ほど低い水温となっています。



資料：(社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況情報 第3号 4月11日

◎試験船情報

●試験船開運丸は日本海にて、4月沿岸日本海定線観測を実施中です。また、来週から日本海西部において、スルメイカ分布調査を行う予定です。

●試験船青鵬丸は来週、大畑沖にて流況調査を行う予定です。

◎平成20年度第1回日本海海況予報 (今後の見通し(2008年4月~6月))

4月9日、標記件の予報が(独)水産総合研究センター日本海区水産研究所からプレスリリースされました。

- (1) 隠岐諸島北東、大和堆沖及び佐渡島北方の暖水域は、ほぼ停滞する。若狭湾沖の暖水域は、北東に移動する。山形沖の暖水域は北上する。男鹿半島沖及び津軽半島沖の暖水域は、北上した後消滅する。
- (2) 島根沖及び山陰・若狭沖の冷水域の張り出しは、平年並み。佐渡島沖及び入道崎沖の冷水域の張り出しは、やや弱い。
- (3) 対馬暖流域の表面水温は、”やや高め”で経過する。
- (4) 対馬暖流域の50m深水温は、日本海西部及び北部とも”やや高め”で経過する。

◎他県スルメイカ漁況

○沖合釣り

・鳥取県(3/29-4/2)：沖合は氷蔵船が北九州沖、沿岸漁場は壱岐・対馬~隠岐海峡。境港の中小型船が3日延13隻最高110箱、平均28箱、20入2%、25入12%、30入51%、40入35%、バラ入若干、外套長15~19~24cm。

●六ヶ所沖の水温

	No. 1ブイ		No. 2ブイ	
	水深4m	水深5m	水深5m	水深20m
3月26~31日	4.62	4.58	4.58	5.00
前回差	-2.48	-2.44	-2.44	-2.34

※No. 1ブイは40-58N, 141-25E, No. 2ブイは40-57N, 141-25E